



※ QRコードを読み取ると、各自治会のより詳しい概要（平成26年度村勢要覧）がご覧いただけます。

大木

おおき
大木 294
☎ 098-956-2020

大木公民館

**名譽村民
比嘉秀平氏
1901年 6月7日生
1956年 10月25日没 読谷道路**

1935年にできた比較的新しい集落。集落形態は散村だったが、ほかの地域からの転入が増え、現在の密集した居住地となっている。「読谷道路」の整備によって読谷村の新しい玄関口となることから、更なる発展が期待される。

大木出身者に沖縄の戦後復興に貢献した琉球政府初代行政主席で読谷村名誉村民の比嘉秀平氏がいる。

比謝

ひじや
比謝 26
☎ 098-956-2234

比謝公民館

「佐久川イモ発祥の地」碑とお宮

比謝エイサー

比謝の語源は“東”的意。読谷村の東側にあることからこの地名が付いたといわれている。比謝出身の佐久川清助が選抜育種した「佐久川いも」が明治末期から、昭和にかけて主要品種として沖縄の農業発展に貢献した。転入者の居住が多く、県営比謝団地をはじめとした住宅地が広がっており、南の玄関口として更なる発展が期待される。



※ QRコードを読み取ると、各自治会のより詳しい概要（平成26年度村勢要覧）がご覧いただけます。

長田

ながた
大木 313-9
☎ 098-956-6550

長田公民館

長田川

長田盆踊りのタベ

廢藩置県後、山間地に入植した屋取の集落。米、養蚕、茶の栽培が盛んだった。また長田川の豊富な水を利用して水車が整備され、製糖、精米も行われていた。戦後は地域全域が米軍基地嘉手納弾薬庫として接收され、現在地の大木及びその周辺への移住を余儀なくされた。少人数であるが故、地域活動は皆が家族的な雰囲気で行っており、老いも若きも各種行事に積極的に参加している。

牧原

まきはら
比謝 315-4
☎ 098-956-2328

牧原公民館

チヂン御嶽

牧原エイサー

牧原はかつての王府時代の牧跡（まき=牧場）に入植してできた集落。1928年には県下で初めて謹慎施設として一万坪の貯水池が造られ、トロッコ軌道も整備されるなど、農業の先進地として活況を呈した。戦後は地域全体が米軍基地嘉手納弾薬庫として接收されたため、現在地の伊良皆及び比謝あたりに移り住んでいる。周辺の住宅地化が進むにつれ、他地域からの転入者も増加している。

大湾

おおわん
大湾 425
☎ 098-956-2233

大湾公民館

大湾東地区の開発地域

「和睦」の旗頭を先頭に旗スガサー

国道沿いは市街地が進み、米軍基地にも近いことから外国人住宅などが建ち、密集した居住地となっている。比謝川・長田川に近く、緑豊かな地域であり、潤いある住環境づくりにむけて地域住民が積極的に緑化・美化運動に参加している。

比謝町

ひじやはし
比謝町 3
☎ 098-957-2172

比謝町公民館

吉屋チラーの碑

比謝町碑文

各地からの移入者によって街道沿いに開かれた集落。1914年に大湾から独立発足した。戦前は嘉手納とつながる港町、商業地として大いに栄えたが、戦後は米軍基地接收や道路拡張のため旧地に戻ることはできず、分散居住を余儀なくされた。住民の団結により1969年に公民館を建設。活動拠点として現在もゆいまーる共生事業や各種行事を行っている。

大添

おおそえ
楚辺 1279-31
☎ 098-956-9093

大添公民館

わんぱく広場

防犯パトロール

民間の住宅団地が集中して開発されたことに伴い、新しい住宅地に大添として誕生した。歴史は浅いが、結束力があり、開発地区におけるコミュニティづくりの先進地区として注目されている。住民主体のまちづくりが行われており、住民の手作りで建てられた公民館はその象徴となっている。

横田

よこた
座喜味 2713-115
☎ 098-958-7111

多目的ホール

横田がんじゅう会

横田東入口の花壇

振興集宅地自治会が合併し誕生。読谷村で最も新しい自治会。もともとの読谷村出身者は少なく、全国各地の移住者で構成されている。「自分たちの地域は自分たちで創る」を合言葉にコミュニケーションを大切にする住みよい地域づくりが取り組まれている。